

すぐに手が出る…

気に入らないこと、納得できないことがあると、すぐに手が出てしまいます。いつかお友だちをケガさせてしまうんじゃないかと心配で、いつも目が離せません。

身につけたい力
抑制
シフティング
情緒のコントロール



➡ 言葉や行動で伝えられるように!

子どもの気持ちを代弁して聞いてみる

すぐに手が出てしまうのは、うまく言葉を伝えられないからです。日常生活の中で、「貸して」「ありがと」などのコミュニケーションのキーワードを親子や家族で繰り返し練習しましょう。

何か嫌なことがあったのだとしても、「どうしたの?」という親の質問に対して、子どもがきちんと説明するのは難しいものです。

そんなときには、「これで遊びたかったのかな? それとも、お友だちが先に使ったのが嫌だったのかな?」と、**子どもの気持ちを代弁する選択肢を示して**、子どもの気持ちを理解してあげるといいでしょう。



暴力とは別の解決法を示す

どんな理由であれ、暴力は許容できるものではありませんから、それについてはしっかりと伝えることが大切です。

とはいえ、頭ごなしに「ダメじゃない!」などと叱責しても、子どもは、その理由ではなく「叱られた行為」しか理解できません。

「叩いちゃダメ!」ではなく、どうして暴力を振るってはいけないのかを明確にしてから、手を出すのではなく、どうすればよかったのかを**言葉や行動で伝える**ようにしてください。

そのとき、紙に絵を描いて説明すると、状況が理解しやすくなります。相手の気持ちを文字にして書く、わかりやすいでしょう。

